

11月 モニターレポート		担当出張所	高槻出張所
担当区間	檜尾川合流点～大阪府京都府境界(阪急大山崎駅付近)(右岸28.2～35.4km)		
モニター実施日時	令和2年11月25日(水) 12時00分～13時30分		
天候	曇り		

- ・晩秋のヨシ原
- ・除草・ゴミ

晩秋の上牧・鶴殿のヨシ原は、ヨシやスキの穂が風に吹かれてふわふわ揺れて雲の中にあるような気持ちになった。以前ヨシ原だった場所が新名神高速道になるため様相が一変し、たくさんの重機が作動していた。昔、子どもや両親と散歩していた場所がなくなっていくのは寂しい。



先月も報告させていただきましたが、側道も除草され、車の走行やすれ違いもスムーズになり気持ち良く使うことが出来ます。ありがとうございました。場所により、側道と斜面の際まで除草されている所とわざと？と思うような感じで一列取り残しがあり、運転しているとなぜ全部刈らないのか、全部刈り取ってほしいと思っています。理由がありますか。



除草されて見通しが良くなると、残念だが、ゴミが目につくようになり、空き缶・ペットボトル・マスク・衣類・大型の可燃ごみ(ブルーシート・プラスチックの波板・木板・木材等)が捨てられていた。私が回収出来る

ものは拾ったが、新型コロナウイルス感染のこともありマスクは拾えなかった。また、大型可燃ゴミには警告の紙が貼ってあったが、2週間以上放置されている。きれいな道路でありたい。



ゴミが散乱しているからか、カラスが沢山集まってきて、道路に糞がまき散らされていた。ご近所の方もカラス被害に悩まされていると話されていた。



(意見・感想・処置等)

11月のレポートありがとうございます。

鶴殿のヨシ原は、高槻市の上牧地区及び道鶴地区に広がる淀川河川敷に、長さ約2.5km、幅約400m、面積約75haにわたるエリアで、写真で見ても広大なのがよく分かります。NEXCO西日本のHPに鶴殿ヨシ原の環境保全に配慮した橋梁計画として、新名神高速道路のルートが、筆筆の蘆舌用ヨシの採取範囲から約60m以上離れていること、また葦原に極力影響を及ぼさないよう橋梁の構造、橋脚の配置、工法等を検討し葦原の保全に努めることなどが掲載されておりますので、一度ご覧になってください。思い出のある場所は、これからもずっと残していきたいですね。

除草作業に関しては、道路際(幅1m)の刈り残し部分は、占有者である高槻市や島本町、大阪府が除草作業を行い、道路際1mを除く堤防法面部分(斜面)は淀川河川事務所が除草作業を行いますので、作業時期の違いによって刈り残しがあるように見えます。

モニターしていただいた大量のゴミは、軽トラック1台分くらいはあるでしょうか。驚きと残念な気持ちでいっぱいです。ゴミの散乱はカラスによるものかもしれません。いずれにしろ、ゴミを不法投棄しなければ、カラスが群がることもなかったですし、道路もカラスの糞で汚れることもなかったはずです。まさに「負の連鎖」です。大量のゴミは、11月19日に前島地区の巡回パトロールにて発見しており、高槻市に情報共有をして、11月26日に撤去済みになっているのを確認しております。

自発的にゴミを回収していただいたことは、モニターレポートを見てくださる方々の心に響き、「正の連鎖」となって、一人一人のマナーの向上に繋がればいいですね。

それでは来月のレポートも宜しくお願いします。